

2017年4・5月展示・館員おすすめの本

🌟🌟🌟💡「そのお悩み解決します」💡🌟🌟🌟



新年度が始まり、何かと慌ただしい日々の連続かと思えます。そんな中、ふと我に返った時、これからの学校生活のこと、将来のことを考え、急に不安に思うことがあるかもしれません。そんな時は、是非、図書館に足を運んでみてください。あらゆる悩みに、親身になってよりそってくれる本たちがここにはあります。

4・5月展示では、お悩み別に、問題を解決してくれる本をご紹介します。みなさんが本の味方につけて、充実した素敵な毎日を送れるよう願っています。 (図書館 大久保)



上原隆『友がみな我よりえらく見える日は』学陽書房 1994

この本を読むと、自分が抱えている大抵の悩みは、なんてちっぽけだったのだろうと思えるような、想像もつかない壮絶な人生が綴られています。20歳前後の多感な時期に、是非一度読んでおきたい一冊です。

小川糸『ツバキ文具店』幻冬舎 2016

主人公は鎌倉にひっそりとある文具店を商うかたわら、「代筆業」を家業として営んでいます。難しい問題を解決するための手紙を代筆する主人公が、依頼主に寄り添い、悩み、格闘する姿には、人生をより豊に生きるためのヒントが…。



岩槻謙司『ずっと彼氏がいないあなたへ』WAVE出版 2002

友達には次々に彼氏ができるのに自分にはできない…それは自分自身でも気付いていないあなたの深層心理が原因かも?!彼氏ができない原因と、その解決のための具体策が豊富につまっています。

大学生活

松本俊彦編『大学生のためのメンタルヘルスガイド』大月書店 2016

中野有美『10代のための「くじけない心」をつくる本』大和出版 2016

人生

石原加受子『逃げ出したくなったら読む本』(祥伝社黄金文庫)祥伝社 2016

野村総一郎『人生案内 心の悩み心の不調に答えます』日本評論社 2016

岸政彦『断片的なものの社会学』朝日出版社 2015

人間関係

中島義道『生きるのも死ぬのもイヤなきみへ』角川文庫 2009

高橋幸枝『100歳の精神科医が見つけたところの匙加減』飛鳥新社 2016

吉田兼好『徒然草』(日本文学全集7所収)河出書房新社 2016

恋愛

ぐっどういる博士『男が本当に考えていることを知る方法』高陵社書店 2006

唯川恵『「さよなら」が知ってるたくさんのこと』新潮文庫 2001